

Panasonic  
i-PRO ネットワークカメラ WV-SFV481/SFN480  
V4.70 版 リリースノート

-----  
目次  
-----

[変更履歴](#)  
[ダウンロードファイルについて](#)

-----  
変更履歴  
-----

## Ver V4.70ES

<機能追加>

- 生産工場でプリインストールされる電子証明書を「DigiCert 社」から「Global Sign 社」へ変更。本バージョンアップのみでは変更されません。セキュア通信を実施されている場合の影響などの詳細については、[こちら](#)を参照ください。

<改善項目>

- HTTP アラーム通知機能の以下の内容の改善
  - ・Digest 認証対応  
ID/PW 無しで初回アクセスし、サーバーからの応答を元に Digest/Basic のいずれかで認証する。
  - ・サーバーとのユーザー認証失敗時のシステムログ追加  
認証エラー時、「<HTTP アラーム通知> 認証エラー」のシステムログを表示する。
  - ・HTTPS での送信機能  
通知先に、“https://”を設定した場合、HTTPS のサーバーと判断し HTTPS でのアクセスを実施する。
- 接続方法を HTTP から HTTPS への変更する際、1 クライアントあたりのビットレートが 4096kbps を超えて設定されていた場合に、HTTPS 通信における総配信量 16Mbps 制限を考慮して自動的に 4096kbps へ変更する動作から、ビットレート設定を変えずに運用環境に応じたストリーム配信ができるよう改善。併せて、接続方法の設定画面に HTTPS 接続の総配信量 16Mbps 制限に関する注記を追加。(2021/10 記載内容一部修正)

## Ver V4.10ES

(本バージョンへのバージョンアップには、V4.00 を経由した 2 段階のアップデートが必要です。詳細は[こちら](#))

<改善項目>

- 2 つのセッションを同時に接続した際に、片方の認証が通らずに、音声が届かなくなる現象の改善
- セキュリティ強化を実施
- DDNS 設定画面の「ダイナミック DNS Update (DHCP 連携なし)」「ダイナミック DNS Update (DHCP 連携)」に注記文言を記載
- バージョンアップ画面に オープンソースソフトウェア(OSS)のライセンスを表示
- SD メモリーカードの上書き録画中に最も古いログリストを開き、参照するとファイルが見つからない現象の改善

## Ver V4.00ES

<改善項目>

- ネットワークディスクレコーダーとの接続時における以下の現象の改善
  - ・カメラのストリーム 2 の動作検知設定でアラーム検知してもレコーダー側で検知できないことがある現象
  - ・「4ストリーム」での撮像モード時に、レコーダーから動作検知エリアを設定すると、ストリーム2~4の動作検知が検知できないことがある現象
  - ・4ストリームモード時にレコーダーから動作検知設定した際、カメラ 2、カメラ 3、カメラ 4 を識別可能な動作検知設定ができない現象
- FTP 定期送信エラー時の保存先が変更できないことがある現象の改善

- 「ネットワーク」設定の「HTTP の最大セグメントサイズ」の設定で以下の機能を連動するように改善
  - ・HTTP アラーム
  - ・みえますねっと(アクセステスト)
  - ・みえますねっと(通知)
- セキュリティ対策の強化を実施
- サポートページ URL の変更 (http→https)に伴うリンク先変更
- 録画データをログリストからダウンロードする際に、当該時刻の 1 つ前のログの録画データがダウンロードされることがある現象の改善
- SD カードへの JPEG 上書き録画中に削除不可能なファイルができた際に、カメラ再起動してしまうことがある現象の改善
- ログリスト画面での SD カードデータ削除時、再生画面を表示中に削除できないデータが残ることがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーNX シリーズとの接続時、稀に通信エラーが発生する現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーでシーケンス運用時、映像を出力するまでに時間がかかり、黒画になってしまうことがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーもしくは映像監視ソフトウェア(WV-ASM300 など)をシーケンス動作させた場合にカメラが再起動することがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダーで SD メモリーバックアップされたデータをダウンロードすると、カメラが再起動することがある現象の改善
- セキュリティ強化に伴い、設定データの暗号化方式を変更  
 ※Ver4.00 以降でバックアップした設定データを、Ver4.00 より前のバージョンで動作するカメラにリストアすることはできません。変更内容は[こちら](#)から「チラシ:新機能および補足説明について」を参照ください。

## Ver V2.70ES

### <改善項目>

- 映像配信(JPEG)を 1 年以上連続運用していた場合に、フレームレートが低下する可能性がある現象の改善

## Ver V2.60ES

### <改善項目>

- 工場出荷状態の初期のパスワード認証方式を「Digest or Basic」から「Digest」に変更
- 工場出荷状態の初期のパスワードの使用文字種を「英字/数字/記号」のうち 2 種以上を選択する仕様から「英字大文字/英字小文字/数字/記号」のうち 3 種以上を選択する仕様に変更  
(変更に関するお知らせは[こちら](#))
- ホスト認証にユーザー認証機能を追加
- システムログにログイン失敗した履歴を表示
- 設定データを暗号化して保存するように変更  
 ※ファームウェアを以前のバージョンに戻した場合、設定データがリストアできなくなりますのでご注意ください。
- その他セキュリティ対策を強化(2018/10/22 記載内容一部変更)
- プラグインソフトウェアに、[描画方式]、[デコード方式]、[ライブ画フレームスキップ表示(PC 高負荷時)]を追加
- 配信量制御(ビットレート)の初期値を以下に変更  
 変更前:制限なし  
 変更後:51200kbps

## Ver V2.58ES

### <改善項目>

- セキュリティ強化を実施
- 配信方式で「マルチキャスト」選択時、RTSP 配信はユニキャストのみだったが、その制約を廃止
- みえますねっとポータル画面のライブ画像が、「Google Chrome 64.0 for Windows」で表示できなくなる現象の改善  
(2018/3/26 一部表現を変更)
- 独自アラーム通知のアラーム種別に以下を追加
  - ・SD カード Write エラー
  - ・SD カード Read エラー
  - ・SD カード ファイル削除エラー
  - ・SD カード ファイルシステムエラー
  - ・SD カード その他エラー
- 管理者パスワードが削除されることがある現象の改善

## Ver V2.56ES

<改善項目>

- ActiveX 内の旧社名を新社名に変更
- 画面内のサポートウェブサイトの URL を変更

## Ver V2.54ES

<改善項目>

- H.264 の配信モードを変更すると、意図せずリフレッシュ間隔が 8 秒に変更されることがある現象の改善
- NTP サーバーとの時刻補正において、5 秒以内のずれでは補正されないことがある現象の改善

## Ver V2.53ES

<改善項目>

- ネットワークディスクレコーダ WJ-NX400 への RTSP モード配信時に、連続運用中に配信が停止することがある現象の改善
- ネットワークディスクレコーダ WJ-NX400 での運用時、アラーム発生時に CGI コマンドにより動的にフレームレートを変更しても、カメラの実動作に反映されないことがある現象の改善

## Ver V2.52ES

<改善項目>

- セキュリティ強化を実施

## Ver V2.50ES

<機能追加>

- [配信量制御(ビットレート)]の選択に以下の内容を追加  
10240 kbps / 15360 kbps / 20480 kbps / 25600 kbps / 30720 kbps / 35840 kbps / 40960 kbps / 51200 kbps
- [スマートコーディングモード]に[On(Mid)]、[On(High)]を追加

<改善項目>

- 画面内のサポートウェブサイトの URL を変更
- 設定画面のテキスト文字入力欄に「</script>」を入力すると、レイアウトが崩れることがある現象の改善
- 本来「ステレオ」で出力される音声「モノラル」で出力されることがある現象の改善
- NTP の仕様を一部改善(ご使用については影響ございません)
- 魚眼+パノラマ、魚眼+ダブルパノラマの撮像モード時、かつ初期表示ストリームが JPEG の場合、ライブ画表示した際に表示される JPEG の魚眼の画面にズームボタンが表示されない現象の改善
- スマートコーディングの設定を On にし、H.264 ストリームを、SD 録画のストリームに設定すると、スマートコーディングが強制的に Off になり、リフレッシュ間隔の設定が本来 1s に戻るべきだが、内部的にリフレッシュ間隔が 8s のままとなる。その結果 SD 録画した H.264 が異常データとなることがある現象の改善
- H.264 ストリームの接続/切断を繰り返すと、カメラが再起動することがある現象の改善

## Ver V2.43ES

<改善項目>

- プリインストール証明書を使用し、接続方法”HTTPS”に設定したあと電源 Off/On すると接続方法が”HTTP”に戻る現象の改善

## Ver V2.40ES

<機能追加>

- HTTPS を使用する際に必要となる証明書の選択機能追加

- 改ざん検出を使用する際に必要となる証明書の選択機能追加  
※上記 2 点の証明書の機能追加については、2016 年 4 月生産分以降(シリアル番号 PDxxxxxx 以降)で本機能をご使用いただけます。(1 桁目が P,Q,R\*\*\*以降、および 1 桁目が P の場合 2 桁目が D,E,F,\*\*\*以降)

#### <改善項目>

- ユーザー認証の初期値を「Off」から「On」に変更
- ユーザー名、パスワードの初期値「admin」「12345」を削除し、入力条件を「4～32 文字」から「8～32 文字(英数字の混在必須)」に変更  
※すでに設定済の機器をバージョンアップしても従来のユーザー名、パスワードは削除されません。設定画面や初期化ボタンで初期化すると改めて設定が必要になりますのでご注意ください。

### Ver V2.02ES

#### <機能追加>

- [みえますねっと PRO]を統合後の新「みえますねっと」に対応  
※2016 年 2 月の「みえますねっと」サービスリニューアルに伴い、「みえますねっと Pro」ご利用のお客様は、サービス終了する 2016 年 6 月 30 日まで、そのままバージョンアップすると DDNS サービスが停止しますのでご注意ください。

#### ご注意

現在、機能拡張ソフト「WV-SAE200」をお使いの場合は、必ず SFV481,SFN480 のファームウェアを V2.02 以上に、WV-SAE200 のバージョンを V1.20 以降にバージョンアップしてお使いください。バージョンアップについては、[こちら](#)を参照ください。

### Ver V2.01ES

(本バージョンへのバージョンアップには、中間ファームウェア V9.99 による 2 段階のバージョンアップが必要です。詳細は[こちら](#))

V2.01 以降のバージョンでバックアップした設定データを V2.01 より古いバージョンにリストアすることはできません。あらかじめ、リストアするカメラのファームウェアを V2.01 以降にバージョンアップしてリストアしてください。(2016 年 10 月 記載漏れ追記)

#### <機能追加>

- [スマートコーディングモード]機能を追加
- ファームウェアのセキュリティ対応
- [コントラスト強調表示(RGB:0-255)]機能を追加
- 設定画面の Safari/Firefox/Google Chrome 条件付対応。検証バージョンは以下です。
  - ・Safari: v5.34.57
  - ・Google Chrome: v44.0.2403
  - ・Firefox: v39.0.0制限事項については、[こちら](#)を参照ください

#### <改善項目>

- 設定画面で設定値を変更せずに「設定」ボタンを押した場合に、不要な FlashROM への書き込みが発生することがある現象の改善
- ユーザー設定画面でユーザー管理画面、メンテナンス画面の画面レイアウトが崩れることがある現象の改善
- 機能拡張ソフト「WV-SAE200」対応
  - ・人数カウント/ヒートマップ性能改善

#### ご注意

現在、機能拡張ソフト「WV-SAE200」をお使いの場合は、必ず SFV481,SFN480 のファームウェアを V2.02 以上に、WV-SAE200 のバージョンを V1.20 以降にバージョンアップしてお使いください。バージョンアップについては、[こちら](#)を参照ください。

### Ver V1.15E

#### <改善項目>

- カメラにブラウザでアクセスすると「503 エラー」となり、再起動するまで復旧しないことがある現象の改善

## ご注意

Ver1.15 以前の古いバージョンで、機能拡張ソフト「WV-SAE200」をお使いの場合は、必ず WV-SAE200 のバージョン V1.03、V1.05 をお使いください。

バージョンアップについては、[こちら](#)を参照ください。

## Ver V1.14E

### <改善項目>

- 起動中に再起動し、起動時間が延びることがある現象の改善

## Ver V1.13E

### <改善項目>

- 起動時または撮像モード変更時に、H.264(1)の映像が乱れる事がある現象の改善
- SD メモリーカードの異常発生時にカメラがエラー応答をしないため、録画サーバーシステム「ArgosView」が JPEG のバックアップ録画機能使用時に異常から復帰できなくなることがある現象の改善  
※SD メモリーカード異常時に、エラー応答をするように改善しました
- ネットワークディスクレコーダ WJ-NV300 に SFV481/SFN480 を登録し、カメラをマルチキャスト設定にした状態で、NV300 から卓上／壁設定を変更すると、NV300 の 4 画/9 画で画像が出なくなることがある現象の改善
- 時刻補正方式を、手動→NTP に切り替えたあとに「タイムゾーン」を設定すると、同期時にタイムゾーンが正しく反映されないことがある現象の改善
- 稀に、再起動することがある現象の改善

## Ver V1.12E

### <改善項目>

- 工場出荷状態から機能拡張の i-VMD をインストールした後、カメラを再起動すると iVMD がアンインストールされてしまう現象の改善
- 機能拡張の i-VMD の設定変更によって、MOR 更新速度が通常 1fps のところを 1/15fps で動作することがある現象の改善
- 機能拡張の人数カウントのラインを水平に近い角度で引くと再選択できないことがある現象の改善
- 4 ストリームモード時、VBR, 12Mbps 以上に設定すると、4 ストリームの ch4 が黒画表示になることがある現象の改善

## Ver V1.11E

### <機能追加>

- 機能拡張ソフトウェア i-VMD 機能(WV-SAE200 TYPE3)に対応
- 機能拡張ソフトウェア対応に伴い、[バージョンアップ]タブ内に、追加アプリのインストール画面へのリンクを追加

### <改善項目>

- WV-ASM200 に対する対応・改善
  - ・WV-ASM200 がカメラの解像度情報、プリセット情報を正しく取得できない現象の改善
  - ・WV-ASM200 の上下反転、クリック&センタリング、ドラッグ&ズーム、プリセット登録に対応
  - ・WV-ASM200 で FTP 経由の SD ダウンロードができない現象の改善  
※ASM200 使用時は、ASM200 のバージョンを Ver3.20 以上の状態でお使いください。
- H.264 の録画再生画面にて、スライドバーをドラッグし、全く移動させずにドロップ(離す)とブラウザ(Internet Explorer)が応答しなくなる現象の改善
- 起動直後に電源が OFF になった場合、カメラ画面上のボタン等が表示されなくなる事がある現象の改善
- アラーム FTP 送信機能 On、かつ送信先の FTP サーバにアクセスできない状態の場合にアラームが発生し続けていると、設定変更、ログダウンロード等が正常に実施できないことがある現象の改善
- SD メモリーカードへの録画中に電源が落とされた際に、録画が継続できない状態となることがある現象の改善
- マルチキャストオートスタート時、マルチキャストを 2 重に配信してしまい映像が乱れることがある現象の改善
- スローシャッター設定にした状態で、低照度時に電源 On するとフォーカスが合わない現象の改善
- PC からカメラへの音声送信(送話)の開始/停止を数多く実施すると、H.264/音声の配信ができなくなることがある現象の改善。
- 長時間使用し続けると、JPEG 画像の画質が悪化することがある現象の改善

## Ver V1.02E

- 初版

---

### ダウンロードファイルについて

---

sfv481\_\*\*\*E.zip は WV-SFV481/SFN480 のファームウェアです。  
ダウンロード後、ファイルをダブルクリックし解凍(拡張子 bin または img に)してバージョンアップにご利用ください。

※バージョンアップの手順は、各機種取扱説明書を、ご参照ください。